
■第18回福祉社会学会大会（ZOOM開催） プログラム 2020年11月15日（日）

午前の部

10:00-10:10 開会の挨拶 平岡公一 福祉社会学会 会長

10:10-11:50 [第1部会] 社会的紐帯とネットワーク 座長：中田知生（北星学園大学）

1. 10:10-10:35 鹿児島県薩摩郡さつま町における介護予防と地域サロン——介護保険の新しい総合事業
○高木俊之（東海大学）
2. 10:35-11:00 中国における高齢者の社会参加——生活の質との関連に注目して
○聶 穎（名古屋大学大学院）
3. 11:00-11:25 地域子育て支援拠点の多機能化——「日本版ネウボラ」と子育て支援NPOの事例調査から
○工藤 遥（拓殖大学北海道短期大学）
4. 11:25-11:50 若年層における自殺の伝染——インターネット・パネル調査による検証
○平野孝典（桃山学院大学）

休憩・昼食（11:50-12:30）

午後の部

12:30-14:10 [第2部会] 子ども・家族 座長：三輪清子（明治学院大学）

1. 12:30-12:55 貧困と子どものメンタルヘルス ○稲葉昭英（慶應義塾大学）
2. 12:55-13:20 コロナ禍で子育ての社会化を考える——横浜市保育利用世帯の実態分析から
○相馬直子（横浜国立大学大学院）
○伊藤保子（立命館大学大学院）
○友澤ゆみ子（NPO法人ピッピ親子サポートネット）
○河野暁子（NPO法人ピッピ親子サポートネット）
3. 13:20-13:45 知的障害者における母親の役割——障害者総合支援法以降の自立生活にかかるケアの調整
○染谷莉奈子（中央大学）
4. 13:45-14:10 児童養護施設入所児同士にみられる親密性の両義性——連帯と孤立に着目して
○宇田智佳（大阪大学大学院）

14:10—14:20 休憩

14:20—16:00 [第3部会] 障害・ソーシャルワーク 座長：竹端 寛（兵庫県立大学）

1. 14:20-14:45 利用者中心主義にもとづく障害者支援の言説の歴史的形成過程に関する一考察
○岡村逸郎（筑波大学）
2. 14:45-15:10 軽度障害のあるアスリートの障害観について——「軽度障害のジレンマ」に焦点を当てて
○河西正博（同志社大学）
3. 15:10-15:35 薬物処遇重点実施更生保護施設において勤務する支援専門職の役割形成
○相良 翔（埼玉県立大学）
4. 15:35-16:00 <発達障害>とソーシャルワーク——<発達障害>は社会にいかんにか位置付けられてきたか
○小川裕子（大阪府立大学大学院）

16:00—16:10 休憩

16:10—17:25 [第4部会] 福祉国家と政治 座長：鎮目真人（立命館大学）

1. 16:10-16:35 福祉国家に対する態度の測定——伝統的福祉国家政策と家族政策の次元
○池田 裕（京都大学）
 2. 16:35-17:00 EUの競争政策がスウェーデンの基礎自治体の社会サービス提供に及ぼした影響
○太田美帆（静岡大学）
 3. 17:00-17:25 同和地区における社会福祉事業をめぐる政治——京都市の隣保事業廃止に着目して
○中川理季（世界人権問題研究センター）
-

大会に関するお知らせ・お願い

- ・本大会は、オンライン（ZOOM Meeting）を用いて開催いたします。ZOOMは、登録制となります。後日、会員MLにて、参加登録のリンクをお送りいたしますので、学会の前日までに登録をしてください。MeetingのURLは、登録後に登録メールアドレスにお送りいたします。
- ・各報告の要旨は、学会公式サイト以下のページ（<http://www.jws-assoc.jp/>）に掲載しております。
- ・報告の録画はご遠慮ください。